

玉縄城址を守る



玉縄城址まちづくり会議

Facebookにて
私たちの活動を発信中



大船駅の西側に、かつて「お城」が？

今の玉縄のまち

鎌倉の表玄関、大船駅西口を出る。目の前に大船観音、柏尾川沿いに首塚、県立フラワーセンター、ショッピングモール、そして栄光学園、清泉女学院がある。

ここは今、鎌倉の北の文教住宅地です。

忘れられた玉縄城

この地の緑の龍脈の頂きに、ただ一つの鎌倉の城、玉縄城があったのです。



戦国時代その玉縄城は、北条早雲が「民のための国造り」をめざし相模、三浦、関東全域を経略するために築いた城であり、名君の呼び声も高い玉縄北条氏六代による「四公六民」の善政の地ともなって鎌倉の人々を守りました。

しかし、関東の三名城とも謳われた玉縄城も、今は清泉女学院の敷地とその周囲地域に遺構として残るのみ。鎌倉市民の記憶からすっかり見えようとしています。

私たちは、この私たちの足元に隠された有形 無形の歴史文化資産を守らねばならない。次の世代に伝えていかなくてはならない。それがこの地域のまちづくりの優れた資源になると考えています。



画：日本画家・城郭研究家 大竹正芳 副会長

甦れ 玉縄城！

私たちは、2006年から玉縄城址をランドマークとする地域まちづくりの無償ボランティア活動を続けています。玉縄城址歴史ミュージアム―史跡指定の予定される貴重な城址遺構を守っています。

重文古民家、歴史民俗資料館、ギャラリーがある龍寶寺の玉縄歴史館を運営し、玉縄城と城主6代の歴史研究展示、学芸員育成、小学生体験学習などの事業に取り組んでいます。

これからも文化庁、神奈川県、鎌倉市、民間財団との協働を大切に意欲的な活動を進めてまいります。玉縄城址、玉縄歴史館のボランティア活動に、是非ご参加ください。

いつでも大歓迎です！



玉縄城址まちづくり会議
会長 荒井 章